

<標準的な記入例&作成要領>

交付申請図書作成要領(棟別様式・H25省エネ基準)

提出書類	記入例	様式、縮尺	チェック欄	
① 適合状況を確認した建築士の免許証	/	写し	<input type="checkbox"/>	
② 建築士による適合確認書 1.建築物の基本事項 2.申請者等の概要 3.一次エネルギー消費量(削減量)の適合状況 提案申請時と今回の実際の設計との差異を確認します。 <b>※提案内容からの変更は原則認められません。採択通知書の附帯条件②にある範囲内の変更に限り認める場合もありますので申請前にご相談ください。</b> 4.省エネルギー基準への適合状況	例-3	別添1-1    別添1-2  別添1-3	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
③ H25省エネ基準	一次エネルギー消費量の評価書及び計算書 (該当する場合は添付)	/	別添様式2 (別添様式3)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果 (住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム)	/	/	<input type="checkbox"/>
	外皮性能の計算結果	/	任意様式	<input type="checkbox"/>
	外皮面積の算定根拠となる添付資料 ・平面図:「主たる居室」「その他の居室」「非居室」がわかるように色分けし、それぞれの床面積を記載。 ・立面図:熱的境界部位がわかるように色付けし、外皮性能の(断面図) 計算に使用した外皮面積を記載。 ・断熱材・開口部 仕様基準確認表(仕様規定を適用する場合のみ)	例-4	参考様式-1 別添1-添付資料	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
④ 案内図:最寄駅及び目標となる建物を明示	/	任意縮尺	<input type="checkbox"/>	
⑤ 配置図:縮尺、方位、敷地の境界及び道路の位置、 <b>真南からの太陽光パネルの方位角</b> を明示	/	任意縮尺	<input type="checkbox"/>	
⑥ 仕様書・仕上表等:物件名等、 <b>提案項目を明示</b>	/	/	<input type="checkbox"/>	
⑦ 平面図:縮尺、方位、寸法、求積、室名を明示 空調設備・換気設備・給湯設備: <b>提案項目及び設置位置を明記</b> <b>通風有の場合は通風計算及び通風経路を併記</b>	/	1/50程度	<input type="checkbox"/>	
⑧ 立面図:縮尺、寸法 4面以上、 <b>提案項目を明示</b> 太陽光発電設備: <b>設置位置及び割付図を明示</b>	/	1/100程度	<input type="checkbox"/>	
⑨ 矩計図: <b>提案項目を明示(断熱、開口部の仕様等)</b>	/	1/20程度	<input type="checkbox"/>	
⑩ 照明設備:プラン図、カタログの写し等を添付 <b>(未定の場合は実績報告時に添付)</b>	/	任意縮尺	<input type="checkbox"/>	
⑪ その他( <b>提案内容が確認できる資料、カタログ等の写しで、設備機器や材料の性能値を明示したもの</b> )	/	/	<input type="checkbox"/>	
⑫ 請負契約書、見積書等(明細が確認できる資料) <b>補助対象工事項目、金額の明記</b>	/	任意様式	<input type="checkbox"/>	
⑬ 掛かり増し費用算定書(掛かり増し費用での申請の場合のみ提出)	/	参考様式	<input type="checkbox"/>	
⑭ 補助金に関する <b>合意書(請負)</b>	/	任意様式 (写し)	<input type="checkbox"/>	
⑮ 補助金に関する <b>確約書(建売)</b>	/	任意様式 (原本)	<input type="checkbox"/>	

(注) 添付する図面や資料には、補助金申請やエネルギー消費削減量の**算定根拠となる部分(数値、算定式など)**にマーカーを入れ、**わかりやすい表示**としてください。

# <標準的な記入例&作成要領>

別添 1-1

例-3 (棟別)

## 建築士による適合確認書

当該申請に係る住宅の一次エネルギー消費量の評価結果、省エネルギー基準への適合状況及び当該申請に係る住宅の設計内容と住宅のゼロ・エネルギー化推進事業の提案申請に記載されている提案内容との適合状況

二級建築士の場合は登録番号頭に都道府県を入れて記載

平成 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日

建築士の押印

(二級)建築士 (知事) 登録 東京都 第○○○○号  
 建築士の氏名 ○○ ○○

### 1. 建築物の基本事項

施主名 (フルネーム、連名の場合は連名)

提案と同じ応募番

事業名	○○○○○○○○			応募番号	NO14- 00001	
事業の区分と名称	新築	請負	住宅A	環境太郎様邸		
所在地	都道府県	市区	町、字番地			
	東京都	世田谷区	祖師谷○丁目○○番地			
用途	専用住宅		構造	木造 (軸組工法)		
住宅規模	1階	67.91㎡	2階	52.17㎡		構造を選択
延床面積・階数	延床面積	120.08㎡	地上	2階	地下	無
本事業の予定工期	着工	平成26年9月1日	完成	平成26年12月25日		

### 2. 申請者等の概要

全体様式の提案者

全ての床面積は断熱化された住宅部分を記入 (吹抜け、車庫、屋外物置等は省く)

申請者	名称	株式会社 ○○○○工務店				
	住所	東京都新宿区神楽坂1丁目1-15				
建築主	氏名又は名称	○○ ○○				
	住所	東京都世田谷区祖師谷○丁目○番○○号				
確認者の所属先	事務所名	株式会社 ○○○○工務店				
	事務所区分	一級 建築士事務所				
	登録年月日	平成20年1月15日				
	登録番号	東京都	知事登録	第	○○○○	号
	所在地	市・区	町、番号			
		新宿区	神楽坂1丁目1-15			
	電話番号	○○-○○○○-○○○○				

# <標準的な記入例&作成要領>

別添1-2 (H25基準)

例-3 (棟別)

## 3. 一次エネルギー消費量 (削減量) の適合状況

適用した判断基準を選択

### (1) ゼロ・エネルギー住宅の種別

適用した判断基準	<input checked="" type="checkbox"/> ①一次エネルギー消費量の算定要領に基づく評価結果 (平成25年省エネ基準) <input type="checkbox"/> ②審査委員会によって上記 ①, ②の基準と同等以上の性能を 有する住宅と認められたもの
----------	---

(注) 該当するものに■を選択すること。また審査委員会に認められたものについては、別途審査結果書面を添付すること。

### (2) 評価結果 <(1) で ①を選択した場合>

評価結果	補足説明※		提案時の 数値基準		今回の 算定値	
	(R)	⑪	106.3	%	119.9	%
エネルギー削減率 (%)	(R)	⑪	106.3	%	119.9	%
エネルギー削減率 (%) (太陽光発電を除く)	(R <sub>0</sub> )	⑬	27.1	%	31.3	%

※ 別添様式2-Aまたは2-Bで算定した値を該当する記号の欄に転記すること。

### (3) 一次エネルギー消費量計算結果

提案申請書式の別添様式2-Aまたは別添2-Bの該当する書式と、省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果を提出すること。

### (4) 評価結果 <(1) で ②を選択した場合>

提案内容 (仕様・性能)
<p>提案時に提出したエネルギー削減率の算定に使用した書式を提出します。同時に、計算過程で使用した省エネルギー基準一次エネルギー消費量計算結果も添付します。仕様等の変更は原則認められませんが、事前に相談が有り、KKJが認めたものについては、その限りでは有りません。しかし、提案時のエネルギー削減率(R<sub>0</sub>,R)は、どちらも下回ることは認められません。</p>

4. 省エネルギー基準への適合状況

(1) 提案する住宅の断熱性能

該当する地域区分	6 地域	年間日射地域区分	A4	外皮等面積	308.08
省エネルギー性能			当該地域の基準値	今回の算定値	
■ 性能基準	U <sub>A</sub> 値 (外皮平均熱貫流率[W/(m <sup>2</sup> ・K)])		0.87	0.66	
	η <sub>A</sub> 値 (冷房期の外皮平均日射熱取得率)		2.8	2.1	
□ 仕様基準 (設計・施行指針)	外皮等の面積合計 床面積の合計			開口部 比率	

該当する地域区分を選択

該当する日射地域区分を選択

1. エネルギーの住宅の合理化に関する法律第75条の規定による届出書 (以下、単に「届出書」とい  
を成  
省エネルギー基準に基づく判定基準を選択  
品質確保等  
仕様基準で提出の場合は住宅の  
形状比外皮/床面積と開口部比率を算定し  
て記載ください。  
地域区分を入れると基準値のUA・ηAは自動出力します。  
ブルダウンから選択します。
2. 該当項目の根拠となる計算書等の資料を提出すること。
3. 仕様規定を適用する場合は、別添-添付資料1も提

(2) 提案する住宅の設備の方式・性能

設備項目	設置 状況	有無を選択	詳細項目		メーカー及び型番を記入			
暖房設備	主たる居室	有	温水床暖房	メーカー 型番	〇〇〇〇製 ○-△△△△型			
	その他居室	有	AC 区分 (い)	メーカー 型番	〇〇〇〇製 ○-△△△△型			
冷房設備	主たる居室	有	有を選択した場合 ①開口比率によるものか ②計算シートによる根拠の	メーカー 型番	〇〇〇〇製 ○-△△△△型			
	その他居室	有		メーカー 型番	〇〇〇〇製 ○-△△△△型			
通風措置	主たる居室	無	外皮熱損失量 (q)	229.7	冷房期の日射熱取得量 (m <sub>c</sub> )	6.76		
	その他居室	無			暖房期の日射熱取得量 (m <sub>H</sub> )	11.31		
換気設備	有	換気方式	省エネ対策の種類	比消費電力	熱交換	無		
		壁付け式 第二種又は三種	比消費電力による	0.3 w/(m <sup>2</sup> /h)				
		換気回数	0.5回/h	メーカー 型番	〇〇〇〇製 ○-△△△△型			
給湯設備	熱源機	有	電気ヒートポンプ給湯器	メーカー 型番	〇〇〇〇製 ○-△△△△型			
	節湯 機器	台所水栓	有	節湯A1 (手元止水機能)	メーカー 型番	〇〇〇〇製 ○-△△△△型	給湯配管  ヘッダー方式 全て13A	
		浴室 シャワー	有	節湯A1 (手元止水機能)	メーカー 型番	〇〇〇〇製 ○-△△△△型		
		洗面水栓	有	節湯C1 (水優先吐水機能)	メーカー 型番	〇〇〇〇製 ○-△△△△型		
	高断熱浴槽	有	メーカー型番	〇〇〇〇製 ○-△△△△型				
太陽熱給湯	無		貯湯タンク 容量	メーカー 型番				
照明設備	主たる居室	有	白熱灯無し	調光採用	無	■	別紙参照→ プラン図	
	その他居室	有	白熱灯無し	調光採用	無	□	実績報告時に提出	
	非居室	有	白熱灯無し	人感センサ	有	↑上記の内どちらかを選択		
太陽光発電設備	有	メーカー型番	〇〇〇〇製 ○-△△△△型	モジュール 能力/枚	195.0w	28枚		
		真南からの方位角	15°	傾斜角	30°	システム 容量	5.4kW	
コージェネレーショ ン	無		メーカー 型番					

## ＜標準的な記入例＆作成要領＞

### ■ 別添1-3（H25基準）での補足事項

1- 設備項目の設置状況は下記区分にて選択が可能です

- 暖冷房 選択 ○ 通風措置 選択 ※通風有を選択した場合は必ず計算根拠が必要です
- |              |                                  |                           |
|--------------|----------------------------------|---------------------------|
| 全館<br>有<br>無 | 無<br>有5/h → 計算根拠提出<br>有20/h → 同上 | ①開口比率による場合<br>②計算シートによる場合 |
|--------------|----------------------------------|---------------------------|

①開口比率は ※「その他居室」についてはその全てが上記開口比率を満足することが必要  
次ページに 該当するその他居室で一番厳しい数値で判定します。

②計算シートは ※ 通風計算シートの詳細は下記アドレスより入手可能です。

<http://www.kenken.go.jp/becc/house.html>

2- 暖房設備で、全館方式を選択する場合は、主たる居室の詳細項目欄に記載します

設備項目		設置状況	詳細項目		
暖房設備	主たる居室	全館	ダクト式セントラル空調システム (HP式熱源)	メーカー 型番	〇〇〇〇製 ○-△△△△型
	その他居室	全館		メーカー 型番	

3- 外皮熱損失量及び日射熱取得量（冷房期、暖房期）について  
外皮計算書（評価協会仕様）などの出力結果から転記します

この値を転記

2) 計算結果

外皮平均熱貫流率	0.57 W/(m <sup>2</sup> K)	単位温度差あたりの外皮熱損失量(q)	174.1 W/K
冷房期の外皮平均日射熱取得率	2.16	単位日射強度あたりの冷房期の日射熱取得量(m <sub>c</sub> )	6.64
外皮等面積の合計	308.06 m <sup>2</sup>	単位日射強度あたりの暖房期の日射熱取得量(m <sub>H</sub> )	11.17

4- 換気設備にて一種換気を選択した場合→必ず「熱交換型換気」の利用の有無を記載します

- 有の場合 ・有効換気量率が85%かつ熱交換効率が65%以上  
・補正温度交換効率が58.8%以上 のどちらかを選択

換気方式	→	熱交換	有
ダクト式第一種		補正温度交換効率が58.8%以上	

5- 給湯設備の「太陽熱給湯」でソーラーシステムを選択した場合、貯湯タンク容量も選択します

太陽熱給湯	有	ソーラーシステム	貯湯タンク 容量	100L	メーカー 型番	〇〇〇〇製 ○-△△△△型
-------	---	----------	-------------	------	------------	---------------

6- 照明設備にて交付申請時に照明プランが確定していない場合は「実績時に提出」にチェックも可

照明設備	主たる居室	有	白熱灯無し	調光採用	無	□	別紙参照→
	その他居室	有	白熱灯無し	調光採用	無	■	実績報告時に提出
	非居室	有	白熱灯無し	人感センサー	有	↑上記の内どちらかを選択	

# <標準的な記入例&作成要領>

## 通風を確保する措置の有無の判定

抜粋

通風を確保する措置の有無は、確保できる通風量のオーダーに対応した「措置あり（5回/h相当以上）」、「措置あり（20回/h相当以上）」の二水準のいずれかを満たす開口部の開放可能部の面積比が確保されるかで判別される。

1- 判定の手順（開口比率による判別方法を抜粋）

開放可能部の面積比が住宅種別と通風経路ごとに設定された要件を満たすかを確認し、通風を確保する措置の有無を判別する。（開放する開口面積/通過するすべての居室の床面積の合計）

2- 通風経路

方位の異なる外部に面した2開口部をつなぎ、通風時に風が室内を通過する一連の（分岐しない）経路をいう。通風経路は1ないし複数の居室を通過し、外部に面した2開口部のほかに1ないし複数の複数の室内開口を通る経路も設定できる。

通風経路は、経路上の室内開口数により分類される（図1）

※ 本抜粋以外は告示解説書を確認の上で計算根拠を提出すること。

平成25年省エネルギー基準に準拠した算定  
 ・判断の方法及び解説 「Ⅱ住宅」  
 付録3.1C 通風を確保する措置の有無の判定  
 197P～に記載があります

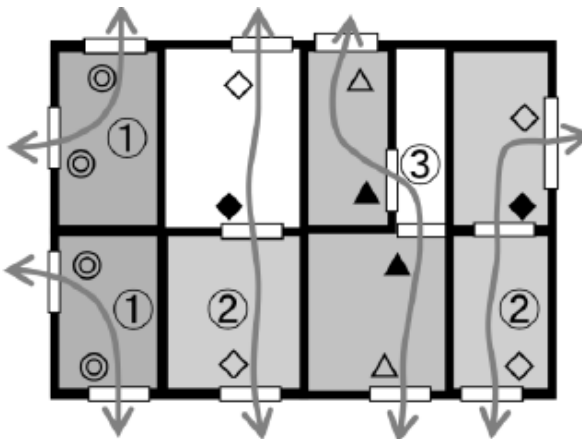


図1

通風経路①～③

- ① 1つの居室の方位の異なる外部に面した壁面（屋根面含む）2面に開放可能な開口部がある場合
- ② 外部に面した開口部を1面しか設置できない居室において隣接する室内開口を介して通風を確保する場合
- ③ 同上条件で2つの室内開口を介して通風を確保する場合

表1 戸建住宅及び2階建以下の共同住宅住戸における通風経路毎の面積比要件

通風措置		有（5回/h相当以上）			有（20回/h相当以上）		
通風経路①	外部に面する2開口 （図1の記号◎）	a			d		
		1/35			1/8		
通風経路②	外部に面する2開口 （図1の記号◇） 経路上の室内の1開口 （図1の記号◆）	a	b	c	d	e	f
		1/20	1/30	1/34	1/5	1/7	1/8
通風経路③	外部に面する2開口 （図1の記号△） 経路上の室内の2開口 （図1の記号▲）	a	b	c	d	e	f
		1/20	1/27	1/32	1/5	1/6	1/7
		1/35	1/27	1/17	1/8	1/7	1/6



## ＜標準的な記入例＆作成要領＞

別添1-添付資料  
(H25基準)

### 断熱材・開口部 仕様基準確認表

例-4 (棟別)

物 件 名	○○ ○○様邸		開口部比率	0.12	
建物の構造	木造 (在来軸組工法)	地域区分	6	外皮等の面積の合計 床面積の合計	2.6

適合性評価欄は審査員記入

部 位 名	該当地域における 断熱性能の基準値	熱抵抗値[m <sup>2</sup> K/W]	今回の申請での仕様及び断熱性能 ・断熱材の材質 (商品名) ・熱伝導率 λ ・厚さ d 熱抵抗値	適合性 評価
屋 根	該当無			
天 井	4.0		高性能グラスウール16K (○○○○○) 熱伝導率 λ=0.038w/m k 厚さ d=180mm 熱抵抗値 R=4.73	
外 壁	充填	2.2	高性能グラスウール16K (○○○○○) 熱伝導率 λ=0.038w/m k 厚さ d=105mm 熱抵抗値 R=2.76	
床		2.2	A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種 (△△△) 熱伝導率 λ=0.028w/m k 厚さ d=90mm 熱抵抗値 R=3.21	
基礎 土間床	外気に 接する 部分	1.7	A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種 (△△△) 熱伝導率 λ=0.028w/m k 厚さ d=50mm 熱抵抗値 R=1.78	
	その 他の 部分	0.5	A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種 (△△△) 熱伝導率 λ=0.028w/m k 厚さ d=20mm 熱抵抗値 R=0.71	

適合性評価欄は審査員記入

開 口 部	熱貫流率 (W/m <sup>2</sup> K)	今回の申請での仕様及び断熱性能 ・サッシの材質 (商品名) ・熱貫流率 U=w/m <sup>2</sup> k ・ガラスの日射熱取得率 ・附属部材	適合性 評価
窓	4.07	アルミ樹脂サッシ+LowE (□□□□□) 熱貫流率 U=2.33w/m <sup>2</sup> k ガラスの日射熱取得率 0.64	
玄関戸	4.07	金属製高断熱構造ドア (◇◇◇◇◇) 熱貫流率 U=2.33w/m <sup>2</sup> k 日射熱取得率 0.079	
そ の 他 開 口 部			

平面図に附属部材も記載

<標準的な記入例&作成要領>

(参考様式)

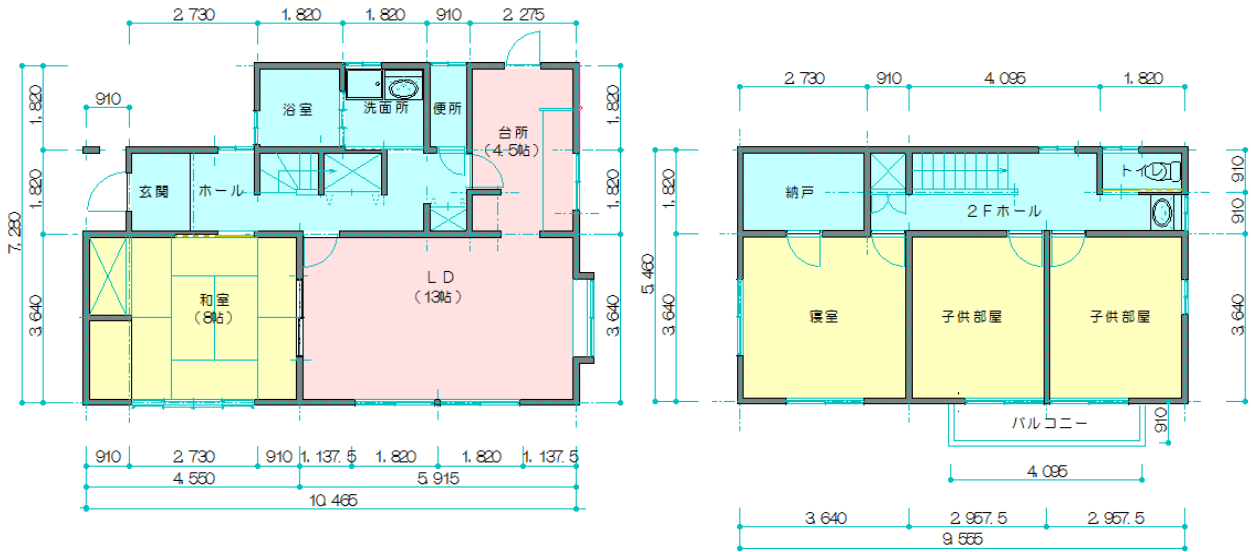
掛かり増し費用算定書

工事項目・名称	今回設置する設備・材料		差額の対象とする設備・材料		単価差額	数量	単位	掛かり増し費用
	仕様	単価	仕様	単価				
① 断熱強化費	天井：A種押出法ポリスチレンフォーム3種 160mm	¥0000	天井：A種押出法ポリスチレンフォーム 1種b 160mm (等級4相当)	¥0000	¥0000	68.0	m <sup>2</sup>	¥000000
	壁：A種押出法ポリスチレンフォーム3種 75mm	¥0000	壁：A種押出法ポリスチレンフォーム 1種b 100mm (等級4相当)	¥0000	¥0000	140.0	m <sup>2</sup>	¥000000
② 開口部強化費	窓：遮熱高断熱型Low-E複層ガラス	¥0000	窓：〇〇社製〇〇シリーズ複層ガラス	¥0000	¥0000	1.0	式	¥000000
	玄関ドア：高断熱ドア〇〇シリーズ	¥0000	玄関ドア：□□社製〇〇シリーズ	¥0000	¥0000	1.0	本	¥000000
③ 空調設備	□□社製高効率エアコン	¥0000	一般的な性能値のエアコン	¥0000	¥0000	1.0	台	¥000000
④ 給湯設備	△△社製エコキュート□□シリーズ	¥0000	〇〇社製ガス瞬間給湯機	¥0000	¥0000	1.0	台	¥000000
⑤ 照明設備	LED (調光有)	¥0000	白熱灯、蛍光灯	¥0000	¥0000	1.0	式	¥000000
⑥ 太陽光発電設備	□□社製太陽光発電システム (〇〇kW)	¥0000	—	—	—	1.0	式	¥000000
							合計	¥000000



外皮面積算定時の計算根拠例

■ モデルプラン図（参考例）

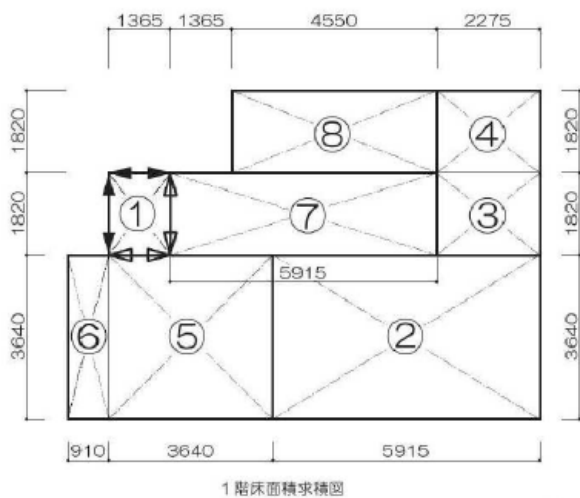


1階平面図

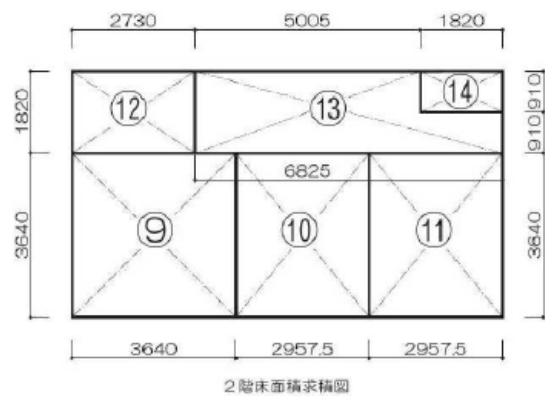
2階平面図

- ※ 居室の区分について色分けをします。
- 主たる居室
  - その他の居室
  - 非居室

■ 求積図



1階床面積求積図



2階床面積求積図

図 3

図 4

↔ 基礎土間周長（外気）

↔ 基礎土間周長（床下）

## ＜標準的な記入例&作成要領＞

参考様式-1

● 床面積・天井面積、及び主たる居室・その他の居室の面積

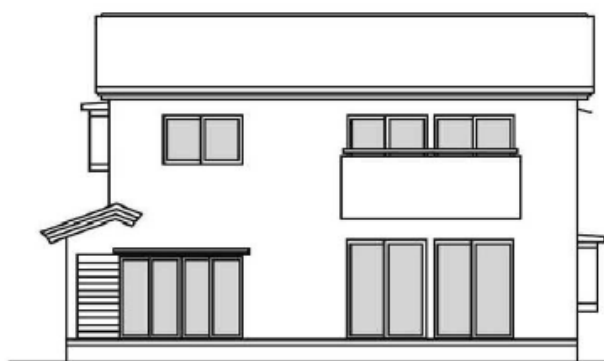
1階	部屋名	X方向	Y方向	求積	天井	床	土間	主たる居室	その他の居室	非居室
①	玄関	1.37	1.82	2.48			○			○
②	LD	5.92	3.64	21.53		○		○		
③	キッチン	2.28	1.82	4.14		○		○		
④		下屋	2.28	1.82	4.14	○	○	○		
⑤	和室	3.64	3.64	13.25		○			○	
⑥		下屋	0.91	3.64	3.31	○	○		○	
⑦	ホール 階段 収納	5.92	1.82	10.77		○				○
⑧	浴室 洗面 トイレ	4.55	1.82	8.28	○	○				○
小計				67.90	15.73	65.42	2.48	29.81	16.56	21.53

2階	部屋名	X方向	Y方向	求積	天井	床	土間	主たる居室	その他の居室	非居室
⑨	寝室	3.64	3.64	13.25	○				○	
⑩	子供部屋 中	2.96	3.64	10.77	○				○	
⑪	子供部屋 東	2.96	3.64	10.77	○				○	
⑫	クゼット	2.73	1.82	4.97	○					○
⑬	ホール 階段	5.01	0.91	4.55	○					○
		6.83	0.91	6.21	○					○
⑭	トイレ	1.82	0.91	1.66	○					○
小計				52.17	52.17	0	0	0	34.78	17.39

		延床面積	天井	床	土間	主たる居室	その他の居室	非居室
合計		120.08	67.91	65.42	2.48	29.81	51.35	38.92

※ 2階建ての場合、総2階部分かあるいは下屋部分かによって、天井面積や床面積に算入するまたはしないかで異なりますので、別々に求めます。

「主たる居室」「その他の居室」「非居室」は、一次エネルギー消費量の判定の時に必要な数値ですので別々に求めます。



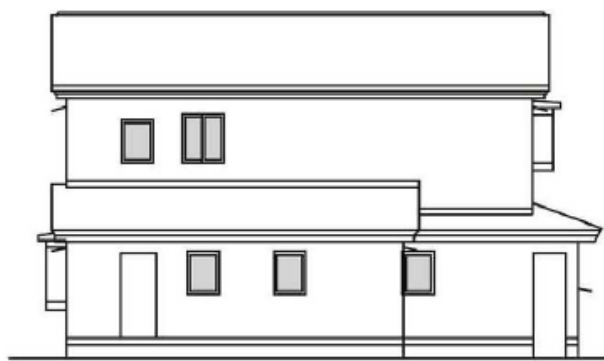
・南立面図

図 1



・東立面図

図 2



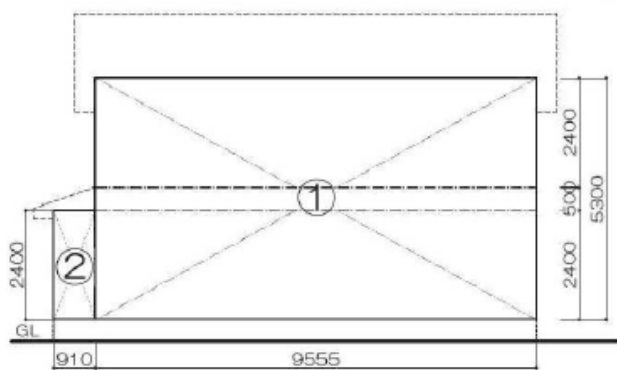
・北立面図

図 3



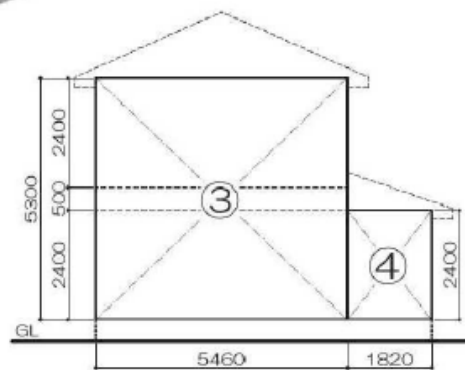
・西立面図

図 4



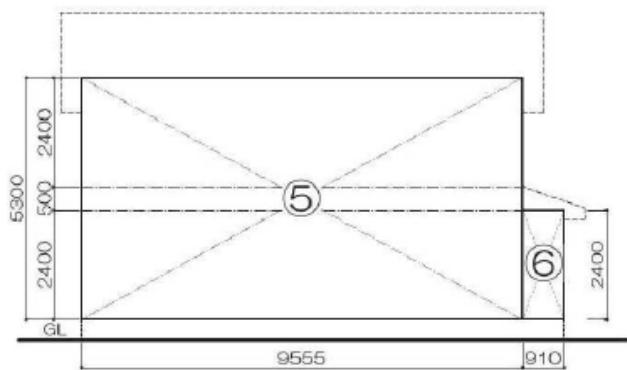
南立面面積求積図

図 5



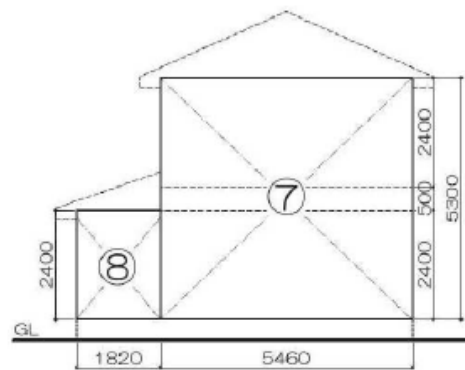
東立面面積求積図

図 6



北立面面積求積図

図 7



西立面面積求積図

図 8

<標準的な記入例&作成要領>

参考様式-1

● 外壁面積

面積の単位[m<sup>2</sup>]

方位		外壁+窓+ドア			小計	窓	ドア	外壁のみ の面積
		W	H	A				
南	①	9.555	5.3	50.64	52.83	19.69	33.14	
	②	0.91	2.4	2.18				
東	③	5.46	5.3	28.94	33.31	3.79	29.52	
	④	1.82	2.4	4.37				
北	⑤	9.555	5.3	50.64	52.83	3.15	1.62	48.06
	⑥	0.91	2.4	2.18				
西	⑦	5.46	5.3	28.94	33.31	2.07	1.89	29.35
	⑧	1.82	2.4	4.37				
合計				172.26	28.69	3.51	140.06	

● 窓面積

面積の単位[m<sup>2</sup>]

方位	階	部屋名	計算式			窓の区分			合計
			W	H	Am <sup>2</sup>	附属部品無	シャッター	内障子	
南	1階	和室	2.55	1.80	4.59			○	19.69
		LD	1.65	2.10	3.47	○			
		LD	1.65	2.10	3.47	○			
	2階	寝室	1.65	1.05	1.73	○			
		子供部屋中	1.65	1.95	3.22	○			
東	1階	子供部屋東	1.65	1.95	3.22	○			3.79
		LD	1.65	1.30	2.15	○			
	2階	台所	1.40	0.70	0.98	○			
		子供部屋東	0.60	1.10	0.66	○			
		トイレ	0.60	0.90	0.54	○			
北	1階	洗面所	0.60	0.90	0.54	○			3.15
		ホール	0.60	0.90	0.54	○			
	2階	ホール	0.90	1.10	0.99	○			
		トイレ	0.60	0.90	0.54	○			
西	1階	浴室	0.60	0.90	0.54	○			2.07
	2階	寝室	0.90	1.10	0.99	○			
		クローゼット	0.60	0.90	0.54	○			
小計					24.10	0.00	4.59	28.69	

● ドア面積

面積の単位[m<sup>2</sup>]

方位	階	部屋名	W	H	A	合計
北	1階	キッチン	0.90	1.80	1.62	3.51
西	1階	玄関	0.90	2.10	1.89	

●面積一覧表 面積の単位[m<sup>2</sup>]

部位	方位	小計	合計	
天井		67.90	67.90	
外壁	南	33.14	140.07	
	東	29.52		
	北	48.06		
	西	29.35		
開口部	窓	南	19.69	28.70
		東	3.79	
		北	3.15	
		西	2.07	
ドア	北	1.62	3.51	
	西	1.89		
床		65.42	65.42	
基礎土間		2.48	2.48	
合計			308.08	

長さの単位[m]

部位	長さ
基礎周長 (外気側)	3.185
基礎周長 (床下側)	3.185

※ 転載許可について

本参考資料は、(一般社団法人) 木を活かす建築推進協議会 発行の  
住宅省エネルギー技術 設計者講習 テキストより一部転載の許可をいただき作成しています。

※ 本資料に関するお問い合わせについては「ゼロエネ審査室」へお願いします。

[zero@kki.or.jp](mailto:zero@kki.or.jp)